
2020年度決算について

2021年4月28日
北海道電力株式会社

ともに輝く明日のために。
Light up your future.



— 目 次 —

□ 連結経営成績・財政状態	．．．	2
□ 連結決算の概要	．．．	3
□ 連結経常利益の変動要因（対1月公表比較）	．．．	5
□ 2021年度 連結業績予想	．．．	6
□ 2021年度 連結業績予想の概要	．．．	7
□ 2020年度 期末配当	．．．	8
□ 2021年度 配当予想	．．．	9
□ 参考資料	．．．	10

■ 連結経営成績・財政状態

経営成績 (累計)

(単位：億円)

	当年度(A)	前年度(B)	増減 (A)-(B)	対前年度 増減率%
売上高	7,407	7,484	△ 76	△1.0
営業利益	537	424	113	26.8
経常利益	411	326	85	26.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	361	267	94	35.3
1株当たり当期純利益	169円09銭	123円16銭	45円93銭	

(注) 2021年4月26日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

財政状態

(単位：億円)

	当年度末 (A)	前年度末 (B)	増減 (A)-(B)
総資産	20,016	19,590	425
純資産	2,897	2,473	423
自己資本比率	13.8%	12.0%	1.8%

■ 連結決算の概要（対前年度比較）

売上高 (減収)	今冬の寒波の影響による増加などはありませんでしたが、 燃料価格の低下による燃料費調整制度の影響や新型コロナウイルス感染症の影響に伴う減少などにより、 前年度に比べ76億円減少の7,407億円となりました。
経常利益 (増益)	前年度に実施した高圧供給の一部契約における検針日変更の影響や新型コロナウイルス感染症の影響に伴う減少などはありませんでしたが、 寒波の影響に加え、 修繕工事の減少や燃料・資機材調達の効率化などによる費用低減に取り組んだことなどにより、 前年度に比べ85億円増加の411億円となりました。
親会社株主に 帰属する 当期純利益	前年度に比べ94億円増加の361億円となりました。

■ 連結決算の概要（対1月公表比較）

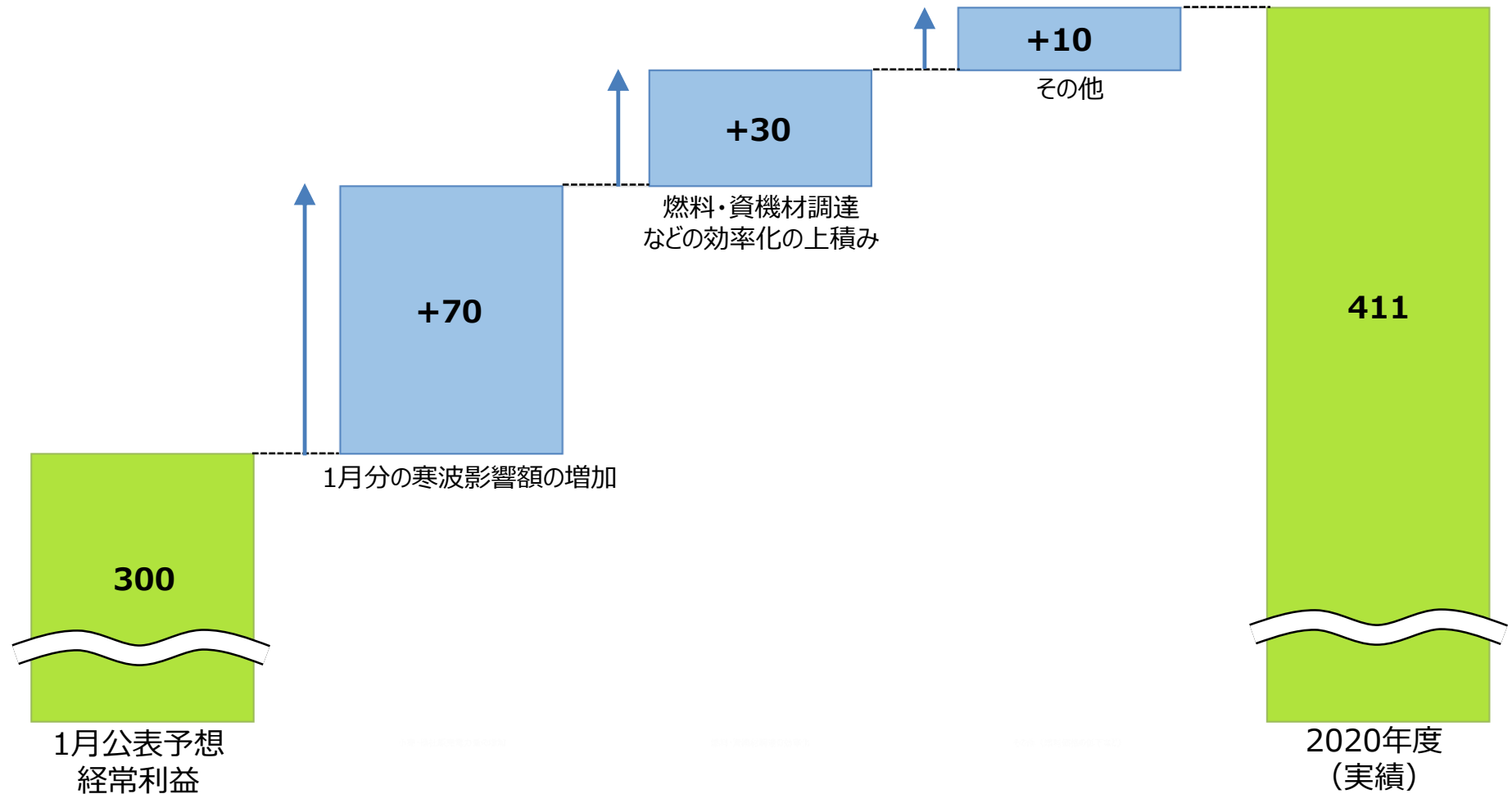
2020年度の連結経常利益については、1月分の寒波影響額の増加に加え、燃料・資機材調達などの効率化の上積みなどから、1月に公表した業績予想に比べ110億円程度の増加となりました。

(単位：億円，億kWh)

	2020年度		
	実績 (A)	1月公表 (B)	増減 (A)-(B)
売上高	7,407	7,190程度	220程度
営業利益	537	390程度	140程度
経常利益	411	300程度	110程度
親会社株主に帰属する 当期純利益	361	260程度	100程度
(対前期増減率) 小売販売電力量	(△4.3%) 227	(△5.0%程度) 225程度	2程度

2020年度実績（連結決算）－ 経常利益の変動要因（対1月公表比較）

（単位：億円、億円程度）



■ 2021年度 連結業績予想

2021年度通期の連結業績予想につきまして、以下のとおり、公表いたします。

(単位：億円、億kWh)

	2021年度 見通し (A)	2020年度 実績 (B) ※	増減 (A)-(B)
売上高	5,750程度	5,852	△100程度
営業利益	330程度	537	△210程度
経常利益	230程度	411	△180程度
親会社株主に帰属する 当期純利益	200程度	361	△160程度
(対前期増減率) 小売販売電力量	(△1.1%程度) 224程度	(△4.3%) 227	△ 3程度

【主要諸元】

為替レート (円 / \$)	110程度	106	4程度
原油CIF価格 (\$ / b1)	60.0程度	43.4	17.0程度

2021年度より、収益認識に関する会計基準の適用に伴い、電気事業会計規則が改正されたことから、再生可能エネルギー固定価格買取制度に関する影響額について、収益・費用計上の対象外となります。

この変更に伴い、従来の方法に比べ、2021年度の売上高が1,700億円程度減少いたしますが、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益への影響はありません。

※なお、2020年度実績については、上記変更を適用したものと仮定して組み替え表示しております。

【新型コロナウイルス感染症の影響】 北海道内の景気は引き続き厳しい状況にあり、持ち直しの動きが足踏みしていることを踏まえ、2021年度の新型コロナウイルス感染症の影響は、小売販売電力量において、△4億kWh程度と見込んでいます。

■ 2021年度 連結業績予想の概要

小売販売 電力量	高圧・特別高圧分野における、お客さまニーズを捉えた営業活動の推進による成果はありますが、前年度の寒波の影響や低圧分野における他事業者への契約切り替えの影響などにより、対前年伸び率△1.1%程度となる見通しです。
売上高 (減収)	燃料価格の上昇による燃料費調整制度の影響はあるものの、前年度の寒波の影響などにより、前年度に比べ100億円程度減少の5,750億円程度となる見通しです。
経常利益 (減益)	火力発電所の定期検査基数の減少などに伴う修繕工事の減少はあるものの、前年度の寒波の影響などにより、前年度に比べ180億円程度減少の230億円程度となる見通しです。

期末配当金につきましては、2020年度の業績や財務状況および今後の経営環境などを総合的に勘案し、本日開催の取締役会において、以下のとおり2021年6月25日開催予定の第97回定時株主総会に付議することを決議いたしました。

- ・ 当社普通株式 → 前年度に比べ10円増配し、1株につき金15円 (総額 3,079百万円)
- ・ 当社B種優先株式 → 1株につき金1,500,000円 (総額 705百万円)

■ 2021年度 配当予想

2021年度の間・期末配当予想につきましては、中長期的な経営環境や収支状況などを総合的に勘案し、以下のとおりといたします。

【1株当たり配当金】

	普通株式			B種優先株式		
	中間	期末	年間	中間	期末	年間
2020年度	5円	15円	20円	1,500,000円	1,500,000円	3,000,000円
2021年度 (予想)	10円	10円	20円	1,500,000円	1,500,000円	3,000,000円

■ 参考資料

- ・連結収支比較表（全体）
- ・連結対象会社
- ・販売電力量（連結）
- ・供給電力量（連結）
- ・連結収支比較表（収益）
- ・連結収支比較表（費用・経常利益）
- ・連結セグメント情報
- ・連結キャッシュ・フロー計算書
- ・連結経常利益の変動要因（対前年度比較）

業績予想

- ・連結経常利益の変動要因（対前年度比較）

連結決算－収支比較表

(単位：億円)

		当年度 (A)	前年度 (B)	増減 (A)-(B)	対前年度 増減率%
経常収益	営業収益 (売上高)	7,407	7,484	△ 76	△ 1.0
	電気事業営業収益	7,029	7,126	△ 97	△ 1.4
	その他事業営業収益	378	357	20	5.8
	営業外収益	16	31	△ 14	△ 45.7
	合計	7,424	7,515	△ 91	△ 1.2
経常費用	営業費用	6,870	7,060	△ 190	△ 2.7
	電気事業営業費用	6,517	6,746	△ 229	△ 3.4
	その他事業営業費用	352	313	39	12.5
	営業外費用	143	128	14	11.0
	合計	7,013	7,189	△ 176	△ 2.4
[営業利益]		[537]	[424]	[113]	[26.8]
経常利益		411	326	85	26.1
湯水準備金引当又は取崩し		△ 2	△ 7	5	—
税金等調整前当期純利益		414	334	79	23.8
法人税等		50	63	△ 12	△ 19.7
当期純利益		363	271	92	34.0
非支配株主に帰属する当期純利益		1	3	△ 2	△ 54.1
親会社株主に帰属する当期純利益		361	267	94	35.3

(参考)	包括利益	460	243	217	89.4
------	------	-----	-----	-----	------

連 結 子 会 社		持 分 法 適 用 会 社
北海道電力ネットワーク(株) ※	北海道電気工事(株)	北電総合設計(株)
北電興業(株)	北海道パワーエンジニアリング(株)	(株)ほくでんアソシエ
苫東コールセンター(株)	ほくでんエコエナジー(株)	石狩LNG栈橋(株)
ほくでんサービス(株)	北海道総合通信網(株)	
ほくでん情報テクノロジー(株)	北海道電力コクリエーション(株)	

※北海道電力ネットワーク(株)は、2020年4月1日に北海道電力(株)の一般送配電事業等を会社分割により承継し、同日付けで北海道電力送配電事業分割準備(株)から商号を変更いたしました。

連結決算－販売電力量

- ・小売販売電力量は、お客さまニーズを捉えた営業活動の推進により当社に切り替えていただく高圧・特別高圧のお客さまが増加したことに加え、今冬の寒波の影響はあったものの、前年度に実施した高圧供給の一部契約における検針日変更の影響や新型コロナウイルス感染症の影響に伴う減少などから、合計で22,683百万kWh、対前年伸び率△4.3%となりました。(新型コロナウイルス感染症による影響：△4億kWh程度)
- ・他社販売電力量は、新型コロナウイルス感染症の影響などはありませんでしたが、今冬の寒波の影響や再生可能エネルギーの買取に伴う市場取引販売量が増加したことなどから、合計で3,820百万kWh、対前年伸び率35.6%となりました。

(単位：百万kWh)

		当年度 (A)	前年度 (B)	増減 (A)-(B)	対前年度 増減率%	
小 売	低 圧	電 灯	8,804	9,064	△ 260	△ 2.9
		電 力	2,059	2,105	△ 46	△ 2.2
		計	10,863	11,169	△ 306	△ 2.8
	高圧・特別高圧	11,820	12,532	△ 712	△ 5.7	
	計	22,683	23,701	△1,018	△ 4.3	
他社販売電力量		3,820	2,818	1,002	35.6	
小売・他社販売電力量合計		26,503	26,519	△ 16	△ 0.1	

- ・ 泊発電所が全基停止していることに加え、出水率が92.3%と平年を下回りましたが、供給設備の適切な運用により、安定した供給を維持することができました。

(単位：百万kWh)

		当年度 (A)	前年度 (B)	増減 (A)-(B)	対前年度 増減率%
自 社	(出水率%) 水 力	(92.3%) 3,450	(88.7%) 3,277	(3.6%) 173	5.3
	火 力	18,007	18,020	△ 13	△ 0.1
	(設備利用率%) 原 子 力	(-) -	(-) -	(-) -	-
	新エネルギー等	129	128	1	0.2
計		21,586	21,425	161	0.7
他 社		7,945	7,546	399	5.3
揚 水 用		△ 225	△ 244	19	△ 7.8
合 計		29,306	28,727	579	2.0

※他社には、連結子会社の北海道パワーエンジニアリング(株)およびほくてんエコエナジー(株)からの受電電力量が含まれている。

連結収支比較表（収益）

（単位：億円）

	当年度 (A)	前年度 (B)	増 減 (A)-(B)	対前年度 増減率%	主 な 増 減 要 因	
売 上 高	7,407	7,484	△ 76	△ 1.0		
電気事業営業収益	7,029	7,126	△ 97	△ 1.4		
2 社 合 計 ※	電 灯 ・ 電 力 料	4,959	5,578	△619	△11.1	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響などによる小売販売電力量等の減少 ・燃料費調整制度の影響
	そ の 他	2,082	1,559	523	33.6	
	地帯間・他社販売 電力料(再掲)	578	317	261	82.4	
	託送収益(再掲)	500	360	139	38.5	<ul style="list-style-type: none"> ・今冬の寒波の影響などによる地帯間・他社販売電力料および託送収益の増加 ・再エネ特措法交付金の増加
	子会社・連結修正	△ 12	△ 11	△ 1	-	
その他事業営業収益	378	357	20	5.8		
営 業 外 収 益	16	31	△ 14	△45.7		
経 常 収 益	7,424	7,515	△ 91	△ 1.2		

※ 2 社合計は、北海道電力(株)と北海道電力ネットワーク(株)の合計（内部取引消去後）の実績を表示している。

連結収支比較表（費用・経常利益）

（単位：億円）

		当年度 (A)	前年度 (B)	増減 (A)-(B)	対前年度 増減率%	主な増減要因
電気事業営業費用		6,517	6,746	△229	△ 3.4	
2 社 合 計	人件費	565	566	△ 0	△ 0.1	
	燃料費	887	1,177	△289	△24.6	【増加要因】 ・再生可能エネルギー買取増 ・今冬の寒波による焚き増し
	購入電力料	1,734	1,572	161	10.3	【減少要因】 ・燃料価格の低下 ・新型コロナウイルス感染症の影響による焚き減らし ・燃料調達などの効率化
	修繕費	699	799	△100	△12.6	・修繕工事の減少 ・資機材調達などの効率化
	減価償却費	721	687	34	5.0	・新規取得設備の償却開始に伴う増加
	その他費用	1,930	1,972	△ 42	△ 2.1	・再エネ特措法納付金の減少 ・資機材調達などの効率化
子会社・連結修正		△ 21	△29	7	—	
その他事業営業費用		352	313	39	12.5	
営業外費用		143	128	14	11.0	
支払利息（再掲）		104	111	△ 7	△ 7.1	
経常費用		7,013	7,189	△176	△ 2.4	
経常利益		411	326	85	26.1	

- ・北海道電力セグメントの売上高は6,695億円となり、セグメント損益は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う減少などはありませんでしたが、今冬の寒波の影響に加え、燃料・資機材調達の効率化など費用低減に取り組んだことから、362億円の経常利益となりました。
- ・北海道電力ネットワークセグメントの売上高は2,684億円となり、セグメント損益は、節電や省エネルギー意識の定着に加え、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う電力需要の減少などはありませんでしたが、資機材調達の効率化など費用低減に取り組んだことから、11億円の経常利益となりました。

(単位：億円)

	当年度
売上高	7,407
北海道電力	6,695
北海道電力ネットワーク	2,684
その他 ※ 1	1,396
調整額 ※ 2	△ 3,368
セグメント損益（経常損益）	411
北海道電力	362
北海道電力ネットワーク	11
その他 ※ 1	47
調整額 ※ 2	△ 10

※ 1 「その他」は、「北海道電力」および「北海道電力ネットワーク」セグメント以外の、その他の連結子会社等の実績である。

※ 2 「調整額」は、連結決算におけるセグメント間取引の消去額である。

- ・営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益や減価償却費の増加などにより、前年度に比べ338億円増加の1,365億円の収入となりました。
- ・投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出の減少などにより、前年度に比べ411億円減少の856億円の支出となりました。
- ・財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債が減少したことなどから、前年度に比べ344億円減少の246億円の支出となりました。
- ・以上の結果、現金及び現金同等物は、前年度に比べ262億円増加の837億円となりました。

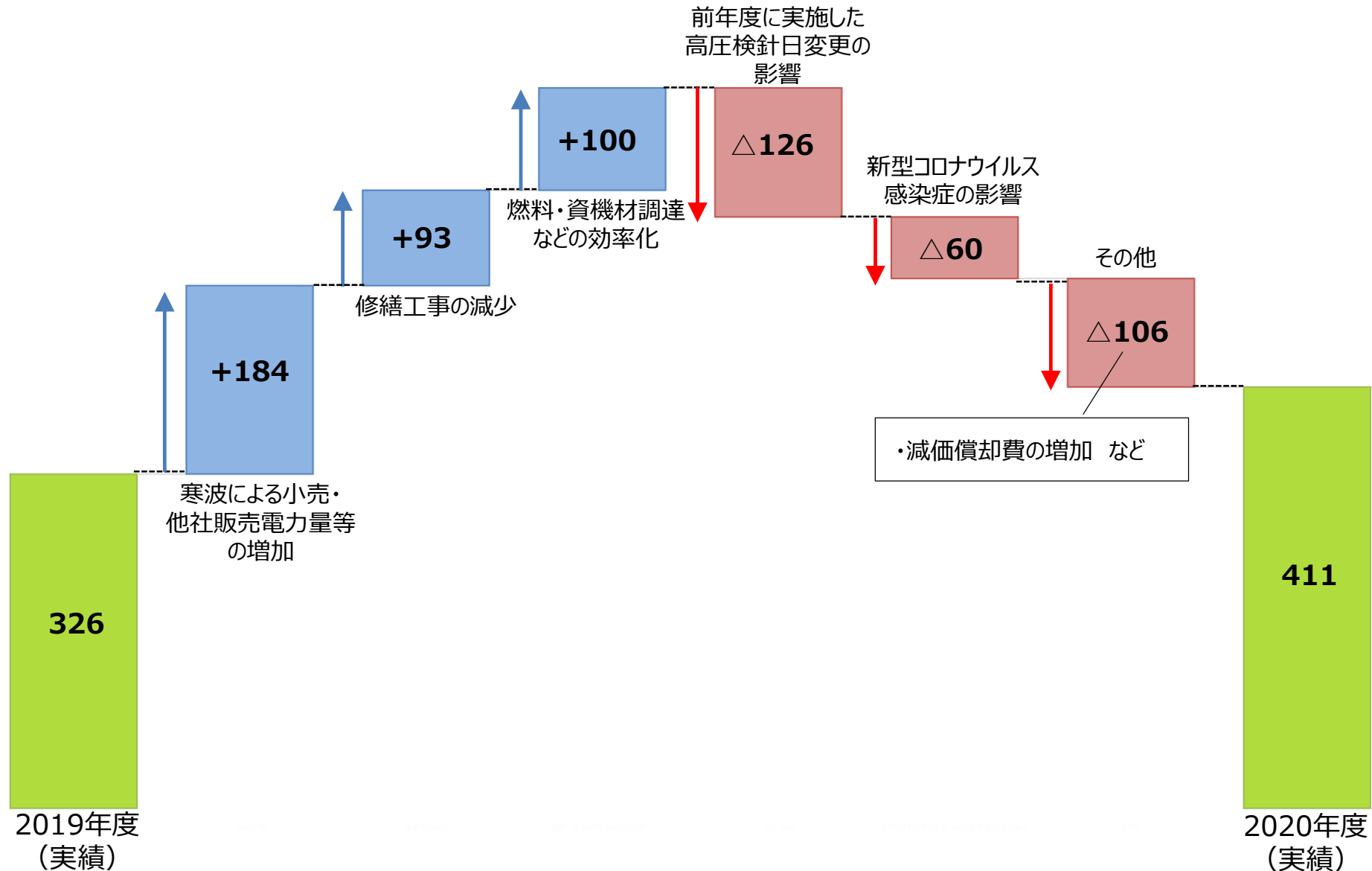
(単位：億円)

	当年度 (A)	前年度 (B)	増減 (A)-(B)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,365	1,026	338
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 856	△1,267	411
差引 C F (I+II)	509	△ 240	749
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 246	98	△ 344
IV. 現金及び現金同等物の増減額 (I + II + III)	262	△ 142	405
V. 現金及び現金同等物の期末残高	837	574	262

(白紙)

2020年度実績（連結決算）－ 経常利益の変動要因（対前年度比較）

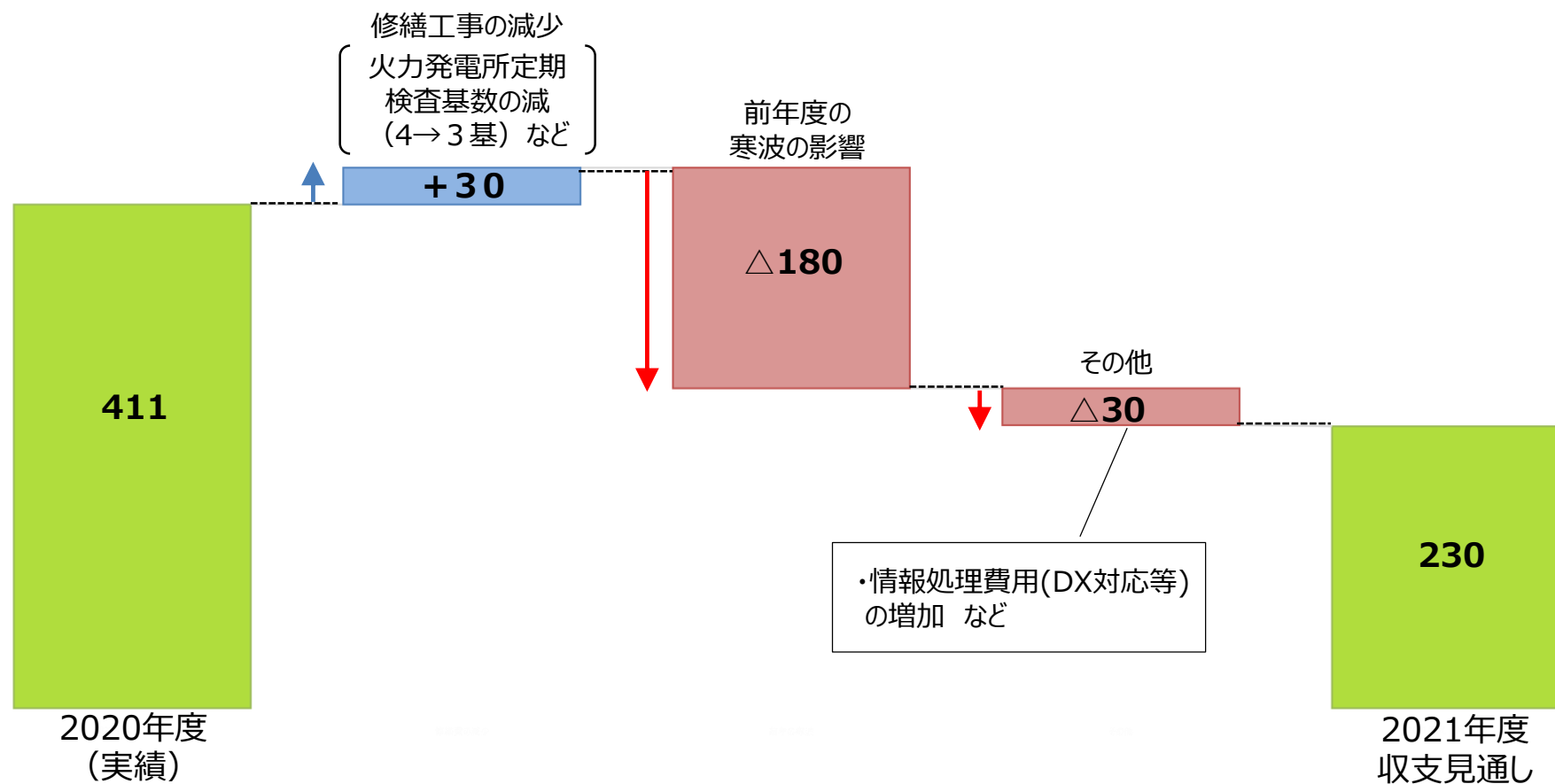
（単位：億円）



2021年度連結業績予想－経常利益の変動要因（対前年度比較）

（単位：億円、億円程度）

2021年度業績予想
（対前年度比較）



(お問い合わせ)
北海道電力(株)広報部広報企画グループ
TEL : 011-251-4076 (直通)